

和風会便り



Vol. 79

発行日、2019. 11. 20.

発行、和風会中島病院 広報担当

津山市糖尿病市民公開講座を開催しました

10月20日 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山にて「健康寿命を延ばす旬の野菜と守る薬剤」というテーマで、津山市糖尿病市民公開講座を開催しました。

中島病院では、毎年11月の世界糖尿病デーに合わせ、津山国際ホテルにて「なごみの会」を行ってきましたが、今年度は第10回という節目の年を迎え、「津山市を日本一の糖尿病診療のできる街にしたい。その第一歩となる会をしたい。」という院長の思いを受け、市民公開講座として開催することとなりました。当日はお祭りの日にも関わらず341名の方にご参加頂き、ありがとうございました。

内容としては「食」と「薬」に焦点をあて、エンターテインメント型の講座となるように3名の講師の先生方をお願いしました。

岡山大学の片岡仁美先生には、糖尿病の合併症の基本と、どのようにしたら予防できるかをわかりやすく説明して頂き、薬剤師の富永美香子先生からは、薬の説明や治療を継続することの大切さをお話し頂きました。

福岡からお越しいただいた管理栄養士の小園先生は野菜ソムリエ上級プロの資格をお持ちで、糖尿病だからといって食べてはいけないものはなく、あなたにあった食べ物をあなたにあった食べ方でと説明され、旬の野菜を使ったレシピを紹介して頂きました。また、健康運動指導士の資格もお持ちということで会場を巻き込んで、桃太郎の曲に合わせたグーパー体操も行われ、会場の中に一体感が生まれ楽しい時間となりました。帰りにはレシピで紹介された野菜を買って帰られた方が多くおられたようで椎茸が売り切れになっていたそうです。

ご参加いただいた方の感想として「良い会だった。」「楽しかった。」「勉強になった。」「豪華な市民公開講座だったな。良かったでえ。」「こんな立派な公開講座初めて。」「毎晩寝る前に体操してみよう。」など、多くの好評を聞くことが出来ました。

講演者の小園先生のブログでは院長のオープニングでの挨拶がとてもエネルギッシュでパワフルで一気に引き込まれるようだった。院長の「津山市を日本一の糖尿病診療のできる街を目指す」との宣言に会場の皆さんが大きな拍手で応えられていた。中島病院ではカラダだけでなく、ココロまでも支える、そんな医療を強い信念のもと実践していると感じたとのコメントを頂きました。

企画側にとっても大変有意義な公開講座となったと振り返らせて頂きます。病気をすることは予防をすることにもつながります。今後も引き続き、津山市における医療・共（教）育活動を通じて、地域医療の向上に努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、ご参加頂きました方々、企画運営にご尽力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

津山市糖尿病市民公開講座企画責任者・糖尿病専門チーム（DMラボ）一同



ご意見・ご質問 Q&A

今年も残すところ、後1か月ちょっととなりましたが、今年は災害の多い年でしたね。地球温暖化の影響でしょうか、年々、災害の規模が大きくなってくるような気がします。病院でも現在大規模災害に備えて体制の見直しをしているところです。

さて今回のQ&Aは、皆様から特別お声をいただいておりますので、今まで取り組みをしている中から、中間報告のような形でお知らせいたします。

1. 待ち時間対策について
先生方の診察のスタイルも考えながら、一部の先生の予約の取り方を変更しています。まだ結果としては分かりませんが、待ち時間対策の一環としては効果が出ているように思います。また、途中で診察の進行状況をお伝えする放送を始めたことも安心に繋がったかなと思います。
2. 待合室温度について
1日3回、3か所の温度チェックを続けています。今は冬場になったので21度～22度の温度設定にしています。朝は入口の温度が少し低くなってきたようなので、近いうちに対応しようと思います。

引き続き、皆様からのご意見・ご質問・ご提案等、お待ちしております。

【病院の基本理念】

私達は地域に信頼される内科専門病院として
良質な全人的医療を提供いたします。

【病院の方針】

病院の理念を達成するために、次の方針を実行します。

1. 安全・安心な医療を行います。
2. いかなる人の人権も尊重します。
3. 親切丁寧な対応に努めます。
4. 個人情報保護をします。
5. 必要な知識・技術の習得に努めます。
6. 快適で清潔な病院環境を整えます。
7. 医療・介護・福祉機関と連携し、地域域の人々の疾病予防・健康増進に努めます。

